

資料編



● 本県の未来を担う児童生徒の声

石川県の教育に関するアンケート

○目的：第4期石川の教育振興基本計画の策定にあたり、子どもを権利の主体として尊重する「子ども基本法」や「いしかわの子ども権利基本条例」の趣旨に基づき、子どもを取り巻く教育・生活環境に関する意見や思いを聞き取り、本県の教育施策に反映させる。

○対象：県内の小・中・高等学校等に在籍する小学4年生以上の児童生徒

○実施期間：令和7年6月23日(月)～8月4日(月)

○対象者数：86,745人 内訳

小学校(4～6年)	27,671人
中学校	28,863人
高等学校等	30,211人

※特別支援学校の小学部・中学部・高等部は上記の校種に含む
 ※高等学校等は定時制高校、高等専門学校の4年5年生を含む

○実施方法：Webでの任意回答方式（児童生徒へは各学校を通じて周知）

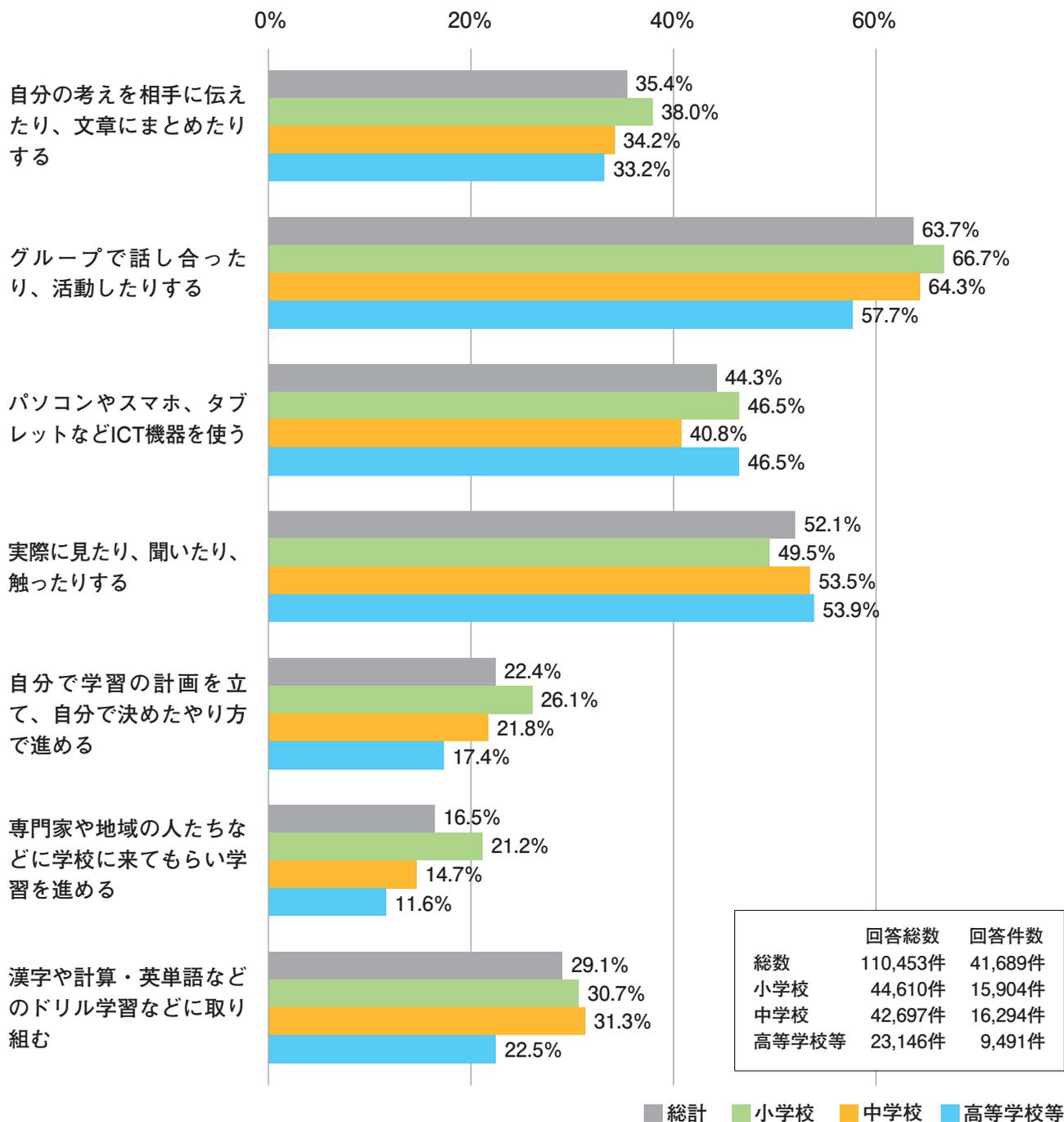
○回答件数：

小学校	学年	4年	5年	6年	計	全児童数に占める割合
	回答件数	5,191	5,342	5,371	15,904	57.5%

中学校	学年	1年	2年	3年	計	全生徒数に占める割合
	回答件数	5,639	5,451	5,204	16,294	56.5%

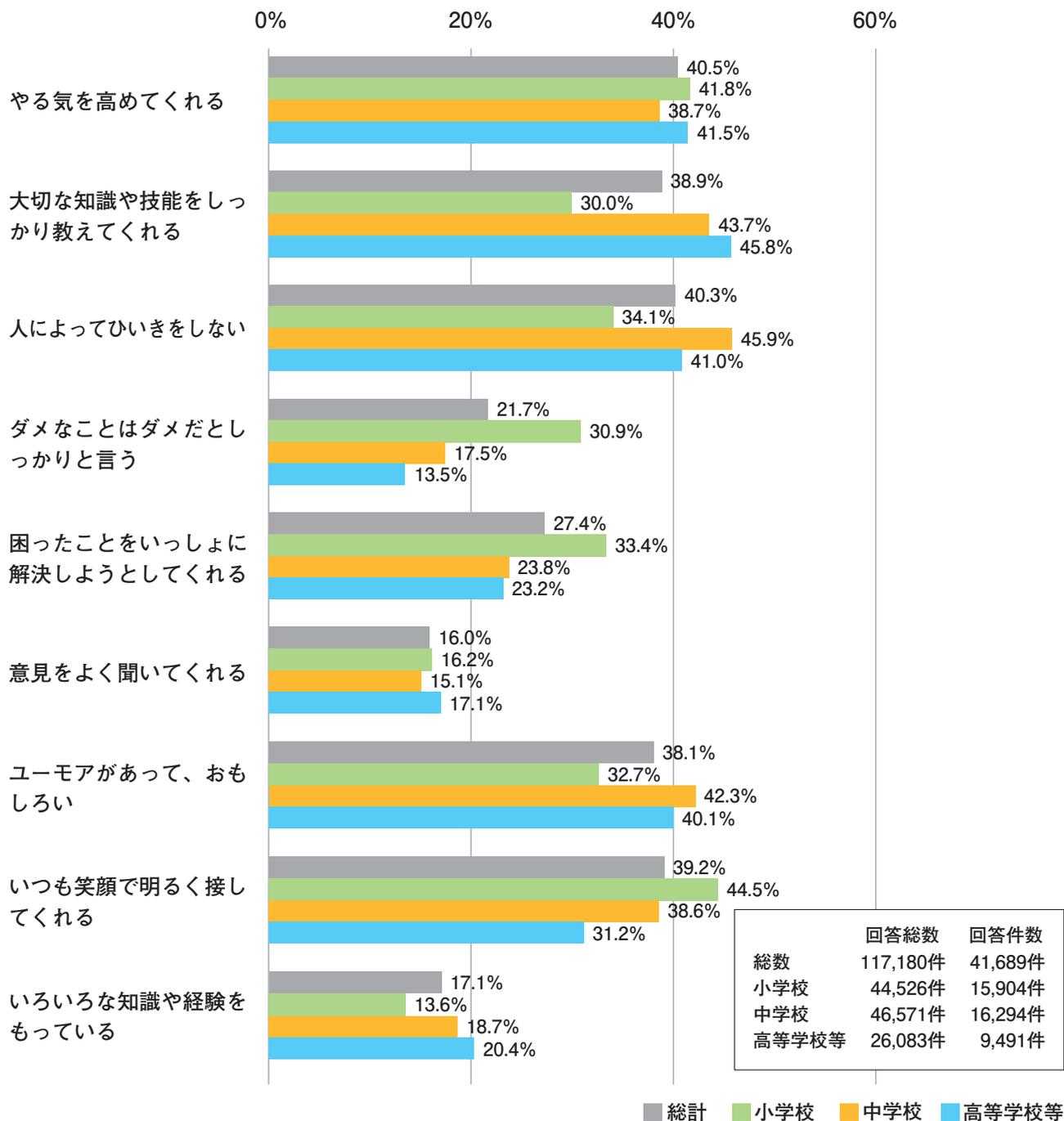
高等学校等	学年	1年	2年	3年	4.5年	計	全生徒数に占める割合
	回答件数	3,465	3,012	2,976	38	9,491	31.4%

質問 1 授業の進め方に関して、どのようなやり方であれば学習内容がもっとよく分かるようになると思いますか。



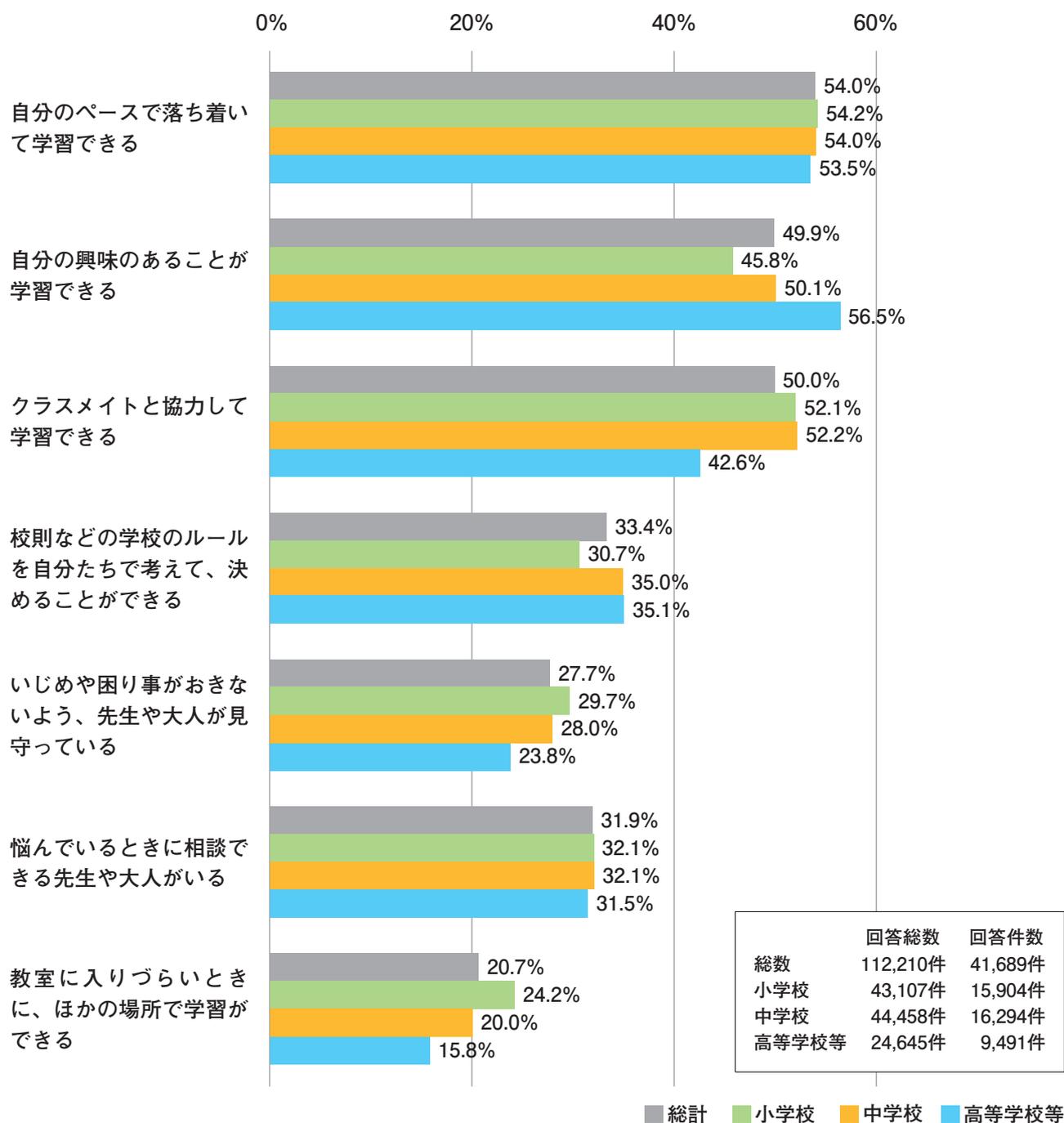
「グループで話し合ったり、活動したりする」が最も多く、かつ回答者の半数以上が選択しています。また、次に多いのが「実際に見たり、聞いたり、触ったりする」で、こちらも回答者のほぼ半数が選択しており、他者とのコミュニケーションや実体験を伴う学習が効果的と考える児童生徒が多いことが伺えます。校種による顕著な差異はみられません。

質問 2 あなたがよいと思う先生はどんな先生ですか。



「やる気を高めてくれる」が 40.5 % で最も多いですが、他にも回答率が 4 割前後の項目が 4 項目あり、それらの回答から「明るく」「公正」であり「指導力」を持った教員という理想像が伺えます。小学生は「いつも笑顔で接してくれる」「やる気を高めてくれる」が多く、コミュニケーションを重視する傾向がみられます。中学・高校は「大切な知識や技能をしっかりと教えてくれる」「人によってひいきをしない」が多く、指導力や公正さを重視する傾向がみられます。

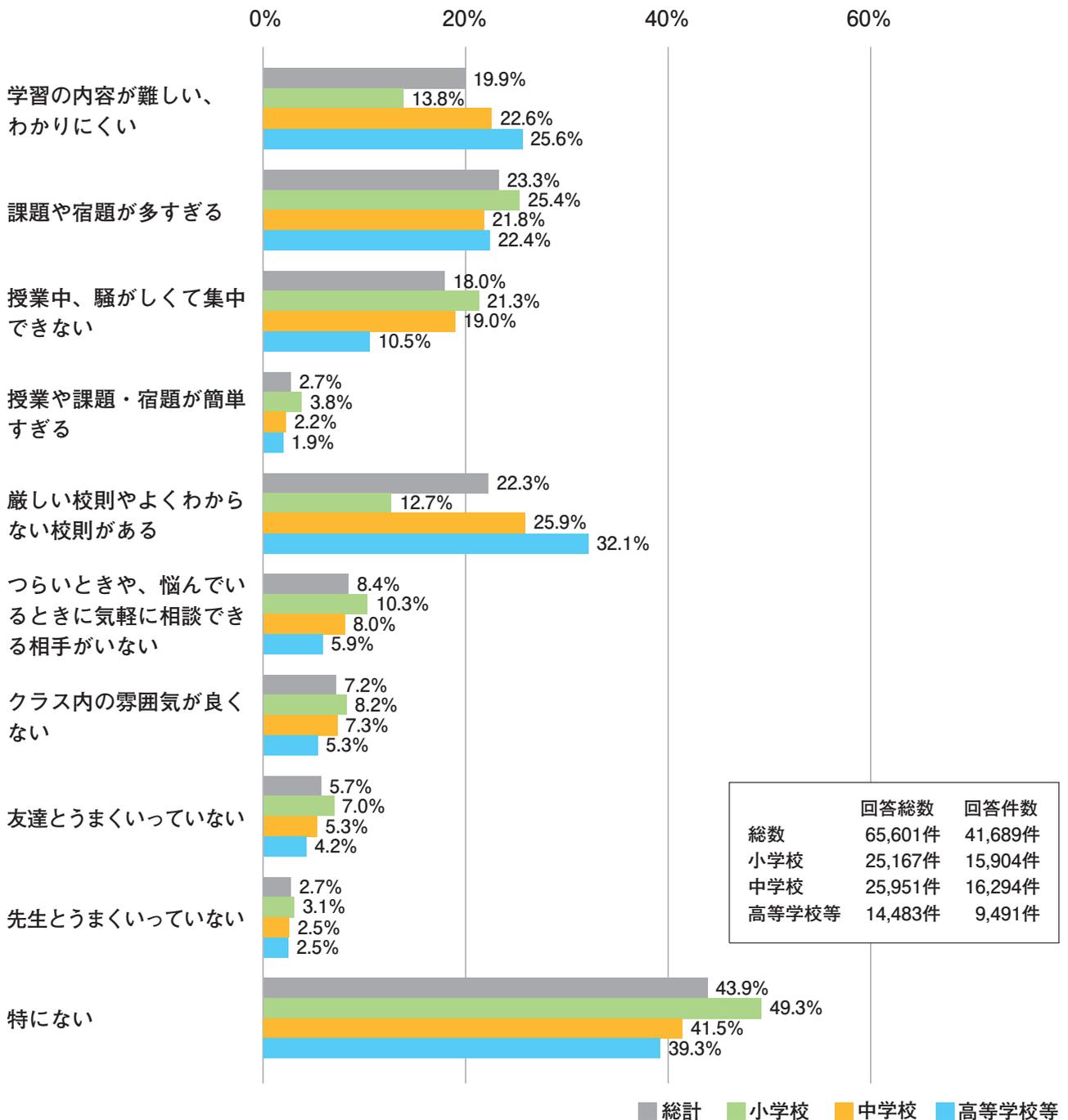
質問 3 誰もが通いたくなる学校とは、どんな学校だと思いますか。



「自分のペースで落ち着いて学習できる」「自分の興味のあることが学習できる」「クラスメイトと協力して学習できる」は、回答者の約半数が選択しており、学習に対する自己決定権があることや他者との交流ができることを魅力と考える児童生徒が多いことがうかがえます。校種の差異としては、高等学校では、魅力的と考える要素として、クラスメイトとの協力がやや少なく、自分が興味のある学習が多くなっています。

質問
4

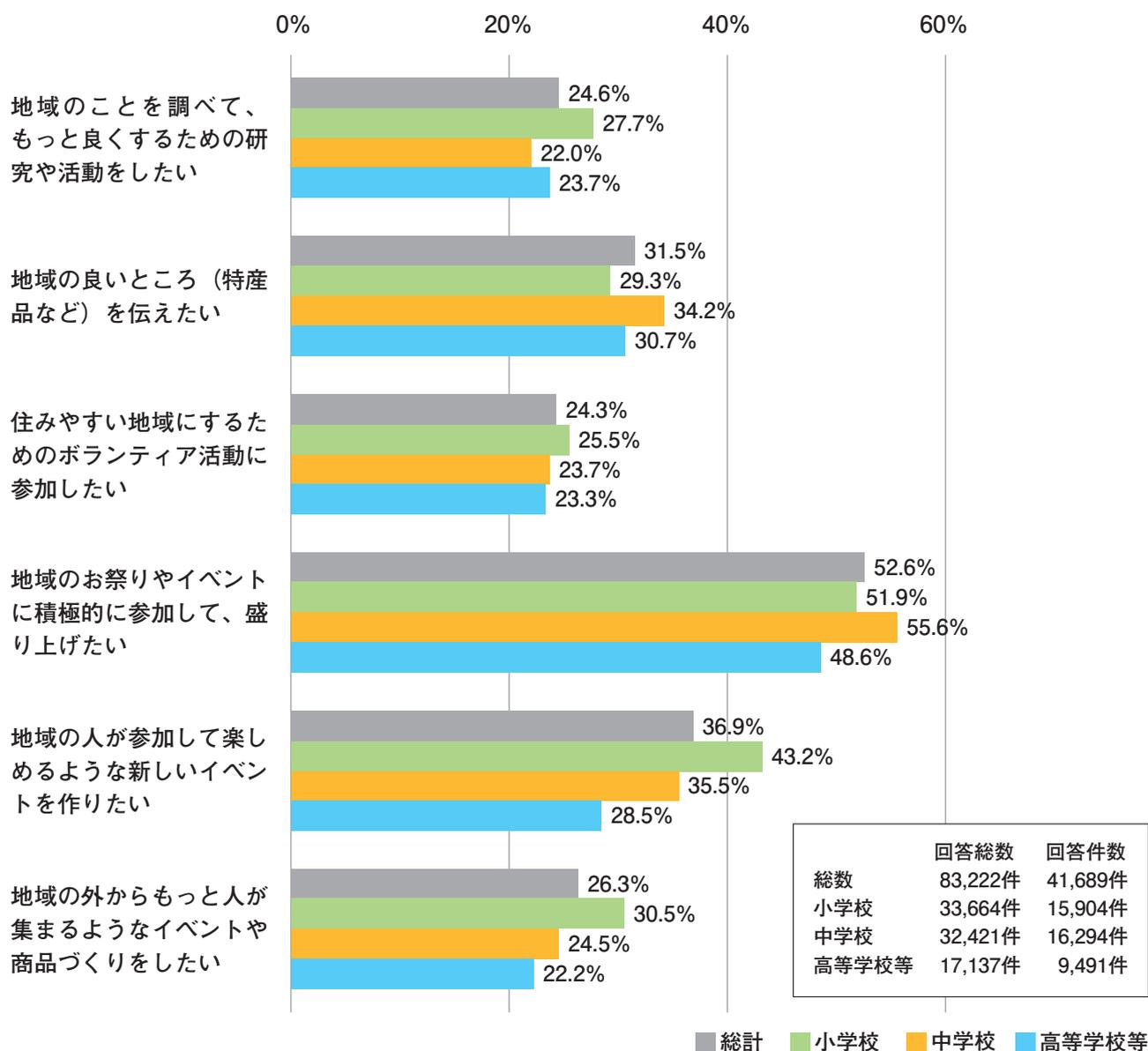
あなたの学校生活で困っていることや、変えてほしいことは何ですか。



「特にない」が最も多いが4割程度であり、約6割の児童生徒が学校生活で何らかの不満や不安を抱えていることがうかがえます。

年齢が上がるにつれ、「特にない」との回答が減少する一方、特に校則への不満に関する回答が増加しています。

質問 5 あなたの住んでいる地域をよくするために、どんなことをしたいと思いますか。



「地域のお祭りやイベントに積極的に参加して、盛り上げたい」が5割強ですが、それ以外の項目は2～3割程度となっています。

校種による顕著な差異は特にみられません。

質問 6	学校が今よりもっと良くなるためのアイデアや、先生や大人に伝えたいことがあれば、教えて下さい。*自由記述（任意回答）
---------	---

校種	小学校	中学校	高等学校等	計
回答件数	5,454	4,351	1,432	11,237
回答率	34.3%	26.7%	15.1%	27.0%

※回答件数には「特になし」に類する回答を除く

【授業のこと】

◇小学校:2,610件

- ・それぞれ自分の学力にあった学習をどんどん進めていけるようにするとよいと思う。
- ・下の学年や上の学年と交流したり、一緒に授業を受けたりすると、学校全体の仲が深まると思います。
※多かった意見（「授業中騒がしい」、「宿題を減らす」など）

◇中学校:2,218件

- ・もう少し授業で自由にいろいろな人と交流できる時間を作ると良いと思う。
- ・クラスの分け方をもっと生徒一人一人にあったクラスにしてほしい。
※多かった意見（「授業中騒がしい」、「個々の学力に合った指導」など）

◇高等学校等:899件

- ・高校生活でもっと色々な経験ができるようにして欲しい。
- ・学びたいものを学べるようにしてほしい。例えば、VR空間でできることはないかという研究を深めればどこでも誰でも授業ができると思う。
※多かった意見（「課題が多い」、「グループワークを増やす」など）

【授業以外の活動(行事や委員会、クラブ・部活動など)のこと】

◇小学校:1,921件

- ・もっと小学校でも色々な行事をやって地域の一人一人が喜んでくれるものをしてほしい。
- ・全校生徒が関わるような楽しいイベントなどをしたら良いと思う。
※多かった意見（「行事(イベント)を増やす」、「クラブの種類・回数を増やす」など）

◇中学校:1,496件

- ・全校が協力して、できるまつりなどをやったり開催したらいいと思う。
- ・全校集会をリモートでする。
※多かった意見（「行事(イベント)を増やす」、「部活動を増やす(時間・種類)」など）

◇高等学校等:606件

- ・もっと企業と協力して地域おこしをできる機会がほしい。これは就職や面接でも言うことができるし社会経験に繋がる良い機会になると思う。
- ・学科や学年、男女関係なしに関われる場を設ける。また高校生だけじゃわからないこともあるので、大学生とも交流したい。
※多かった意見（「行事(イベント)を増やす」、「他学年との交流」など）

【学校の友達や先輩・後輩のこと】

◇小学校:1,106件

- ・いじめも煽りもないクラスにしたら、さらに良い学校になると思います。
- ・「ありがとう」をもっともっと増やせる取組をしたほうが良いと思います。

※多かった意見(「いじめをなくす」、「仲良くする」など)

◇中学校:1,061件

- ・いじめが見逃される、もしくは見つけられていないことがある。
- ・先輩達と関わるために先輩たちと協力して学習したい。

※多かった意見(「いじめをなくす」、「他学年との交流」など)

◇高等学校等:366件

- ・敬う相手、交友関係の構築を学ぶ。
- ・友達のことをもっと寄り添い一人にさせないこと。

※多かった意見(「いじめをなくす」、「交流を増やす」など)

【先生や親、その他学校に関わる大人のこと】

◇小学校:654件

- ・生徒の意見、行動を見て聞いて尊重する。
- ・みんながより良い学校になるために、助けてくれる先生や支援員がもっと増えてほしい。

※多かった意見(「いじめを見張る」、「怒り方」など)

◇中学校:725件

- ・先生の数を増やして欲しい。
- ・気軽に相談できる人が欲しい。

※多かった意見(「生徒を平等に扱う」など)

◇高等学校等:291件

- ・もうちょっと気軽に相談できる人や場所があったほうが良いと思います。
- ・授業中に、サポーターがいれば、授業の内容がわからなくても、サポーターが相手を教えることができると良いと思いました。

※多かった意見(「生徒を平等に扱う」など)

【校則、ルール、マナーのこと】

◇小学校:2,329件

- ・ルールや決まり大切なことを自分達で決めたい。
- ・よくわからない校則があるのでなぜこの校則があるかわかりやすく説明してほしい。
※多かった意見(「ルールを守る」、「休み時間増やす」、「あいさつをする」など)

◇中学校:2,120件

- ・校則(したら駄目なこと)だけを伝えるのではなく、健康やより良い生活を送るために、してもいいこと推奨していることを伝えるのも大事だと思う。
- ・校則は生徒だけが守るのではなく、先生も守ってほしい。
※多かった意見(「校則を見直す」、「体操服登校可」など)

◇高等学校等:1,147件

- ・生徒の意見をもっと取り入れる場を作る。
- ・社会人のルールと学生のルールが違う理由。 ※多かった意見(「校則を見直す」など)

【学校の生活環境(教室、運動場、トイレ、用具など)のこと】

◇小学校:1,477件

- ・体育館にエアコンをつけてほしい。
- ・大きな図書室にして市民が来られる図書室にしてください。
※多かった意見(「トイレ」、「エアコン(体育館・特別教室)」、「遊具」など)

◇中学校:1,227件

- ・学校で自習室を設置する。
- ・体育館や多目的ホールなどの特に集中して話を聞く場所に冷房をつけるなどして、環境を整えてほしい。
※多かった意見(「トイレ」、「エアコン(体育館・特別教室)」など)

◇高等学校等:574件

- ・地震で壊れた箇所がより早く復旧してほしい。
- ・校内をきれいにする、古い設備を減らす。
※多かった意見(「トイレ」、「エアコン(体育館・特別教室)」など)

【その他】

◇小学校:749件

- ・不審者情報を大人だけではなく子供にもいち早く口で話してほしい。

◇中学校:488件

- ・教育機関の予算、もっとあげてもいいと思います。

◇高等学校等:173件

- ・学校にかかる予算を増やす。
※多かった意見(「いまのままでよい」、「お礼」)

いしかわのこども未来ラウンドテーブル

○目的：第4期石川の教育振興基本計画の策定にあたり、「子ども基本法」や「いしかわの子ども権利基本条例」の趣旨に基づき、子どもを権利の主体として尊重し、県内の小中高(特)の児童生徒から、より良い教育環境づくりに向けての思いや要望を直接聞き取ることで、本県の教育施策に反映させる。

○実施方法：石川県教育委員会事務局職員が対象校を訪問し、直接に児童生徒と座談会形式による対話を行い、意見や思いを聞き取る。

○対象校：県下14校(小3、中3、高6、特支2)において実施

・令和7年	6月 3日(火)	石川県立いしかわ特別支援学校高等部	生徒6名
・令和7年	6月 9日(月)	羽咋市立羽咋小学校	児童8名
・令和7年	6月12日(木)	金沢市立浅野川小学校	児童8名
・令和7年	6月20日(金)	加賀市立山代小学校	児童6名
・令和7年	6月25日(水)	川北町立川北中学校	生徒6名
・令和7年	6月26日(木)	能登町立柳田中学校	生徒6名
・令和7年	6月30日(月)	石川県立ろう学校高等部	生徒5名
・令和7年	7月 8日(火)	石川県立金沢錦丘中学校	生徒5名
・令和7年	7月14日(月)	石川県立飯田高等学校	生徒7名
・令和7年	9月 5日(金)	石川県立寺井高等学校	生徒7名
・令和7年	9月22日(月)	石川県立金沢中央高等学校	生徒8名
・令和7年	10月14日(火)	石川県立小松高等学校	生徒6名
・令和7年	10月23日(木)	石川県立羽咋工業高等学校	生徒7名
・令和7年	10月28日(火)	石川県立田鶴浜高等学校	生徒8名

児童生徒の主な意見

【授業形式、学習内容について】

校種	コメント（抜粋）
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と話し合って答えを出し、先生がわからないところをサポートしてくれる授業が好き。 ・自分で答えを見つける授業が楽しい。 ・自由進度学習で自分のレベルに合わせて友達と一緒に学べるのが楽しい。 ・なかなか解けない難しい問題や、文章量の多い問題が出るとやる気がなくなる。 ・考えることが少ない授業では、考える時間がほしい。 ・同じことの繰り返しだとやる気がしぼむ。

校種	コメント（抜粋）
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの意見交換や全体への共有をする授業が楽しい。 ・俳句や詩の創作といった「創造的な活動」が楽しい。 ・友達やグループでわからない問題を考えたり教えたりすることで、意見や考えが深まる。 ・一人で考える時間とみんなで議論する時間のバランスが取れている授業が良い。 ・先生が一方向的に話したり、黒板をひたすら写したりする授業はやる気が起きにくい。 ・先生が生成 AI に頼りすぎて、先生ならではの実践的な解説やポイントが不足している。

校種	コメント（抜粋）
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士で話し合い教え合う形式のほうが、先生の話をつただ聞くだけの授業よりよい。 ・一人でじっくり考える時間や、問題解決に集中できる時間が多い授業が楽しい。 ・身の回りで起きていることを授業と結びつけて考えられると、記憶に残りやすい。 ・タブレットを使って、みんなの意見をタイムリーに見られるのが、理解を深める上でよい。 ・授業のスライドもプリントも字が細かいので、黒板をメインに使ってほしい。 ・体調不良や部活動の大会で登校できない人のために、オンライン授業を活用してほしい。 ・教科書や黒板を書き写すだけの授業は、頭を使わないので、意義を感じない。 ・授業のスライドが多すぎてノートを取りきれない。後で確認できるように公開してほしい。 ・定期試験の前に、本来じっくりやるべき内容を駆け足で終わらせるのはやめてほしい。

校種	コメント（抜粋）
特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・数学と体育の授業で、難しいことができたときに大きな達成感を感じる。 ・普通高校と一緒に行われる合同体育で、ニュースポーツをするのが楽しい。 ・タブレットは誰かに聞かなくても自分で調べられて、意見交換や共有もできるので便利。 ・自分が考えたことについて、みんなと協議する授業が好き。 ・覚えることが多く、学習内容が暗記中心になる授業はつらい。

〔総括〕

授業形式では、児童生徒同士の議論や話し合いが強く望まれており、ICTの活用は理解を深める際に好まれています。学習内容は、将来や実生活に役立つ知識や、達成感のある学習が重視される傾向にあります。

【先生について】

校種	コメント（抜粋）
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・面白い先生、積極的で生き生きしている先生が好き。 ・困り事を理解し、具体的な助言やヒントを与え、寄り添ってくれる先生は信頼できる。 ・良い点や努力を認め、前向きな言葉で褒めたり、励ましたりしてくれるとやる気が起きる。 ・先生が忙しそうなので相談しにくい。 ・自分の自己評価と成績表の評価がずれているのに具体的な説明がなく、不満がある。 ・学習に関する相談はしやすいが、友達関係に関する悩みは相談しにくい。

校種	コメント（抜粋）
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・叱るときと褒めるときのメリハリのある先生が信頼できる。 ・生徒の能力や努力を信頼し、具体的な行動を任せてくれると嬉しい。 ・友達のように接してくれる、弱みを見せてくれる先生に安心感を覚える。 ・自分の努力や成長を認め、前向きな言葉で褒めたり励ましたりしてくれる先生が好き。 ・感情的に怒鳴ったり、見せしめのように大勢の前で叱ったりすることに強い不信感を覚える。 ・他の生徒やクラスと比べられるとやる気を失う。

校種	コメント（抜粋）
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のことをよく見て、具体的なアドバイスや指導をしてくれる先生だと、信頼できる。 ・色々な機会に褒めてもらえたら、次ももっと頑張ろうと思える。 ・悪いことをしたときにちゃんと叱ってくれる先生がいい。自分の成長につながる。 ・進学相談をしたら、志望校のことを詳しく調べ、放課後に長時間面談してくれて感動した。 ・生徒と一緒に楽しんでくれる先生がいて、勉強が全てではないことを教えてくれた。 ・先生から仕事を命じられるのに違和感を感じる。お願いをするのが本来ではないか。 ・注意する基準が違ったり、好き嫌いで態度を変えたりする先生がいる。公平にしてほしい。 ・怒鳴ったり、怒って扉を強く閉めたりする先生は怖い。音に敏感な子はトラウマになる。 ・「ここは簡単」「〇〇高校だからできるよね」のようなプレッシャーはかけないでほしい。

校種	コメント（抜粋）
特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動で、単純な声かけも嬉しいが、具体的にアドバイスをもらえると頑張れる。 ・できなかったことができるようになったときに、それを見つけて褒めてくれると嬉しい。 ・先生たちが生徒のために一生懸命な姿を見て、先生になりたいと思うようになった。 ・作業中に連続で質問されると、焦ってしまい、どうすればいいかわからなくなってしまう。

【総括】

児童生徒は、親身な対応や具体的な助言、メリハリのある指導を信頼し、感情的な叱責や一方的な授業、生徒間の比較を不満としています。特に、成長した部分を認め、真剣に向き合ってくれる先生を好んでいます。

【授業以外の学校生活について】

校種	コメント（抜粋）
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休み時間に、サッカー、鬼ごっこ、ドッチボール、バドミントンなどを楽しんでいる。 ・ 給食は美味しいメニューがたくさんあるため、楽しみ。みんなで机をくっつけて食べたい。 ・ 休み時間に児童会運営委員の活動をしており、自己成長の機会になっている。 ・ 校内のクラブ活動は自主的な活動で楽しいが、月に1回しかないので物足りない。

校種	コメント（抜粋）
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会や文化祭といった学校行事は学校全体やクラスで盛り上がるのが多く、楽しい。 ・ 友達とおしゃべりしながら食べる給食が楽しく、放送で好きな音楽も流れてくるので嬉しい。 ・ 休み時間に友達と日常的な会話をしたり、オセロなどのゲームをしたりして楽しんでいる。 ・ 部活動の、やるときは真剣にやり、それ以外はわいわいと過ごす雰囲気が好き。

校種	コメント（抜粋）
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昼休みにお弁当を食べた後に友達としゃべっている時間が一番楽しい。 ・ 朝のショートホーム前の、クラスがガヤガヤしている雰囲気が好き。 ・ 授業の合間の休み時間に、友達とくだらないことを話すのが楽しい。 ・ 大会で勝つためにみんなで考えて努力する部活の時間が、やりがいがあって楽しい。 ・ 学年を超えてしゃべったり関わったりできる購買に集まる時間が楽しみ。

校種	コメント（抜粋）
特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年間クラスが変わらないため、クラスの友達と非常に仲が良い。 ・ 文化祭で近隣の高校と関わることをとても楽しみにしている。 ・ 学校が広いので、10分しかない休み時間で友達に会いに行き、急いで帰ってくるのが大変。

【総括】

休み時間や給食時には友人との活発な交流が重視され、部活動や行事を通じた活動の楽しさや達成感が学校生活の充実をもたらしています。

【放課後・休日の過ごし方について】

校種	コメント（抜粋）
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習い事（ダンス、水泳、ピアノ、英会話等）が楽しい。学校とは別の友達ができる。 ・ 家族と車でショッピングモールに出かける。 ・ 地域の交流施設で、友達と遊んだり、eスポーツを楽しんだりしている。 ・ 平日は忙しくて寝る時間が短いので、休日は睡眠を多くとり、リラックスできている。 ・ 最近料理を始めた。夕食を作ることもあり、家族に喜ばれている。

校種	コメント（抜粋）
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達とスマートフォンで連絡を取り合ったり、通話しながらゲームをしたりする。 ・ 休日に誰かの家に集まってわいわい遊ぶことが多い。 ・ 平日にはできない長いアニメを見たり、好きな音楽を長時間聞いたりしてリラックスする。 ・ スマートフォンを1日5～6時間利用する。気づいたら時間がたっていることも多い。 ・ 親によってスマートフォンの使用時間に制限がかけられている。

校種	コメント（抜粋）
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休みの日は、食事や寝る時以外はずっとスマートフォンを触っていることが多い。 ・ 部活がない放課後は、友達と話したりスポーツをしたりするのが好きだ。 ・ 休日に家族で郊外のショッピングセンターに出かけることが多い。 ・ 休日は明け方までアニメを観て過ごし、昼に起きる生活をしている。 ・ 放課後や休日に飲食店でアルバイトをしていて、すごくいい経験になっている。 ・ 新聞やネットニュースを見て、政治や経済など、世の中の動向をチェックするのが習慣。 ・ 休みの日に学校に来て、数人の友達と勉強する空間が好きだ。

校種	コメント（抜粋）
特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休日にゲームをして過ごしている。 ・ 休日はスマートフォンを8時間くらい使用している。

【総括】

休日は、友人と遊ぶ活動や、長時間にわたるスマートフォンの使用が目立ちます。また、習い事や部活動、家族との外出を通じたリラックスや睡眠、趣味による充実も重視されています。

【学校の改善点について】

校種	コメント（抜粋）
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・書きやすくて芯の交換が手軽なので、シャープペンシルを使えるようにしてほしい。 ・靴下の色、髪型やゴムの色など、個性に関わる細かなルールに対して、必要があるのか疑問。 ・ロボットを動かすような実践的なプログラミング教育を増やしてほしい。 ・夏休みの宿題が多い。紙の宿題は疲れるので、一人一台端末で取り組める宿題にしてほしい。 ・図書室に古い本が多くて新しい本を入れにくいので、整理して新しい本を導入してほしい。 ・一人一台端末、教科書、ノートを置くと机が狭くなるため、机を大きくしてほしい。 ・集会で体育座りをさせられる際にお尻が痛い。それ以外の座り方もできるようにしてほしい。

校種	コメント（抜粋）
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンを学校に持ち込まないルールがあり、非常時でも親に連絡できず不便。 ・「中学生らしい髪型」という、曖昧で個性を制限する校則に疑問がある。 ・学校にプールがないため、プールの授業を導入できるよう設置してほしい。 ・体育館や廊下に冷房がないため熱中症の危険があり、部活の練習が制限される。 ・学校が高台にあるため、登下校時の坂道がきつく、特に冬場は滑る危険性もある。 ・今の机の大きさでは、一人一台端末を使うと、教科書の一部が隠れて使いづらい。 ・路線バスが遅れることが多いので、時間通りに運行するスクールバスを導入してほしい。

校種	コメント（抜粋）
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館や特別教室に冷房をつけてほしい。効かない冷房があるので改善してほしい。 ・服装や髪型に関するルールについて、理由が説明できないものは変えてほしい。 ・授業中に眠たくなるので、昼寝の時間を少しでも取れたら午後の授業に集中できると思う。 ・学校行事のための買い出しや連絡が必要な時に、スマートフォンを使えるようにしてほしい。 ・終礼が長引くと電車の時間に間に合わないことがある。調整してほしい。 ・購買でお菓子が売っていない。取り扱う商品をもっと増やしてほしい。 ・学校の様々なルールに関して、生徒会から意見を上げてほとんど通ることがない。 ・学校行事が少なすぎるし、生徒数が少ないからあまり盛り上がらない。 ・文化祭や体育祭の規模をもっと大きくして、競技の練習時間も増やしてほしい。

校種	コメント（抜粋）
特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・他の高校と関わる経験があれば自信がつくので、もっと交流を増やしたい。 ・校内放送で呼ばれた際に気付けないため、全ての教室に文字起こしモニターがあればよい。 ・ピアスや指輪が禁止といった細かな校則があるが、授業中だけ外すなら付けても良いのでは。 ・学校帰りのゲームセンターや映画館禁止という校則があるが、近隣の高校生は行っている。 ・学校の先生が決めるだけでなく、生徒も一緒に校則を作り上げていくべきである。

〔総括〕

学校の改善点として、体育館や廊下への冷房設置などの施設環境の改善の声が多くありました。また、制服や髪型、スマートフォンの利用などにおける、生徒の意見を反映した校則の見直しも強く求められています。

【能登半島地震、奥能登豪雨について】

校種	コメント（抜粋）
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニの能登半島地震の寄付に募金した（募金したい）。 ・ポスターを作成して被災地へ届け、応援のメッセージを送りたい。 ・みんなに災害のひどい様子を知ってもらい、意識を高める活動をしたい。 ・奥能登だけでなく、あまり報じられていない地域にも支援が行き届くようにしてほしい。

校種	コメント（抜粋）
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな被害を受けた地域のために役立ちたい。 ・学校のボランティアクラブで、何度か募金活動を実施し、奥能登の中学校に寄付を行った。 ・現地で片付けを手伝う活動に参加し、活動が笑顔につながることを実感した。 ・金沢駅で行われた支援イベントで、少しでも役に立ちたいと、いろいろなものを購入した。

校種	コメント（抜粋）
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・地震で被害を受けた地域のために、何か役に立ちたいと思って、学校で募金活動を行った。 ・都会への憧れが強かったが、避難所で地域の人々の温かさに触れて、考えが変わった。 ・震災で自宅待機の期間を経て、友達との会話や勉強ができる学校の大切さを実感した。 ・被災地への物理的なサポートはあったが、精神的なサポートが少ないと感じた。

【総括】

募金活動やメッセージを送るといった支援活動が行われています。生徒の中には、祖父母の家が被害を受け片付けを手伝った経験がある者や、能登を応援したいという強い思いを持つ者もいます。日常の大切さを実感したという声もありました。

【将来の夢について】

校種	コメント (抜粋)
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 髪を切ることや結ぶことに興味があるので美容師に憧れている。 ・ 医師になりたい。怪我人を治す医師のすごさに感動した。 ・ 漫画に関する仕事につき、みんなが楽しめる作品を描きたい。 ・ バスケットボールに熱心に取り組んでおり、世界的に有名な選手になりたい。 ・ 幼稚園の先生に優しくしてもらった経験から、幼稚園の先生になりたい。

校種	コメント (抜粋)
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 能登半島地震の経験がきっかけで、建築の仕事に関心を持っている。 ・ グラフィックデザイナーになって、人を勇気づけたり元気にしたりする広告を作りたい。 ・ 赤ちゃんを産むことに関わる限られた仕事である助産師になりたい。 ・ 外国語が好きなので、将来は海外に行ったり、海外の人と関わったりする仕事をしたい。 ・ 地球温暖化問題に関心があり、CO₂を変えたり消したりできるような機械を作りたい。

校種	コメント (抜粋)
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尊敬する先生がいて、友達に勉強を教えるのが好きなので、教師を目指している。 ・ 英語で外国の方と交流できるような仕事につきたい。留学をして海外で生活してみたい。 ・ 病気で亡くなった友達の夢を継いで、患者に寄り添う看護師を目指している。 ・ お金は社会的ステータスだと思うので、人をまとめる存在になって、年収 1,000 万円を目指す。 ・ 生徒会長の経験から自分のいる場所をよくしたいという思いが強く、市長になりたい。 ・ 情報系の大学に進んで、プログラミングを学びたい。在宅ワークできる仕事が理想。 ・ 働かなくても収入がある環境を作り、お金にとらわれずに好きなことを仕事にしたい。 ・ 人と話すのが好きなので、接客業のような人との関わりが深い職業に就きたい。

校種	コメント (抜粋)
特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちのために一生懸命な先生方の姿を見て、特別支援学校の先生を目指すようになった。 ・ 職場体験で老人ホームで働いた経験がきっかけで、福祉関係の仕事を目指している。 ・ 将来なりたい仕事はまだ決まっていないが、人とあまり関わらない仕事がいい。 ・ 友達と海外旅行に行きたい。 ・ 小さい子どもと関わることが好きなので、保育士になりたい。

〔総括〕

医療、福祉、教師が人気で、震災を受け地震に強い家を設計したいという夢もありました。ダンスや芸術など、好きなことを仕事にすることも重視されています。

● 施策の達成目標一覧表

「現状」欄は、令和7年度の実績又は令和7年度に行った調査の数値を示し、調査等の時点が異なるものについては、年度を括弧内に記載しました。

「目標値」欄は、令和12年度の実績又は令和12年度に行われる調査において、到達をめざす数値を示しています。

基本目標 1 災害からの復旧復興に向けて、創造的復興教育に取り組みます

【施策の方針1-2】 被災地の教育環境の整備・充実

項 目		現状 (R7)	目標 (R12)
被災した県立学校施設（校舎、体育館、グラウンド等）のうち、 復旧した県立学校施設の割合	小学校	54.5% (R7.12)	100%

基本目標 2 いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献できる人材を育成します

【施策の方針2-1】 ふるさと石川に対する誇りと愛着の醸成

項 目		現状 (R7)	目標 (R12)
全国学力・学習状況調査（または県基礎学力調査）で「地域の 行事に参加している」と回答した児童生徒の割合	小学校	75.3%	85%
	中学校	52.4%	65%

【施策の方針2-3】 イノベーションを担う人材の育成

全国学力・学習状況調査（または県基礎学力調査）で「理科の 勉強は好きだ」と回答した児童生徒の割合	小学校	78.4%	90%
	中学校	69.4%	75%
国際科学技術コンテストの科学オリンピックへの参加者数		352人	400人

【施策の方針2-4】 グローバル社会で活躍できる人材の育成

中学生でCEFR A1（英語検定3級程度）以上、高校生でCEFR A2（英語検定準2級程度）以上の英語力を有する生徒の割合	中学校	52.2% (R6)	60%
	高等学校 (全日)	58.5% (R6)	60%
県内高校生の海外留学者数		361人 (R6)	450人

基本目標 3 確かな学力や専門的な能力、職業実践力を育成します

【施策の方針3-1】 確かな学力の育成

項 目		現状 (R7)	目標 (R12)
全国学力・学習状況調査（または県基礎学力調査）で「授業では、 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと 思う」と回答した児童生徒の割合	小学校	83.1%	95%
	中学校	81.1%	95%
全国学力・学習状況調査（または県基礎学力調査）で「家で自 分で計画を立てて勉強している」と回答した児童生徒の割合	小学校	63.2%	85%
	中学校	55.0%	75%
全国学力・学習状況調査（または県基礎学力調査）で「学校の授業 時間以外に読書（電子書籍の読書を含む。教科書や参考書、漫画や 雑誌は除く）を1日30分以上行う」と回答した児童生徒の割合	小学校	29.4%	50%
	中学校	19.2%	50%
読書会、ビブリオバトル等を実施する公立高等学校の割合		39.5% (R6)	60%

【施策の方針3-3】 教育DX、GIGAスクール構想の推進による学びの質の向上

項 目	現状 (R7)	目標値 (R12)
授業中に ICT を活用して指導することができる教員の割合	85.6% (R6)	100%
児童生徒の ICT 活用を指導することができる教員の割合	86.7% (R6)	100%

【施策の方針3-4】 キャリア教育・職業教育の充実

県立全日制高等学校在学中にインターンシップ等に参加した生徒の割合	51.9% (R6)	80%
----------------------------------	------------	-----

基本目標 4 豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくりを推進します

【施策の方針4-1】 心の教育・道徳教育の充実

項 目	現状 (R7)	目標 (R12)	
全国学力・学習状況調査（または県基礎学力調査）で「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童生徒の割合	小学校	86.8%	90%
	中学校	87.7%	90%
「未来へつむぐ家族の手紙」の応募数（家族部門：小中学生対象）	21,572 点	30,000 点	

【施策の方針4-5】 体験活動の充実

青少年教育施設を活用する小中学校の割合	77.4% (R6)	100%
「いしかわ子ども自然学校」参加者数	4,199 人 (R6)	8,000 人
県埋蔵文化財センター体験学習の参加者数	13,752 人 (R6)	15,000 人

【施策の方針4-7】 児童生徒の体力・運動能力の向上と将来にわたる運動機会の確保・充実

運動部・地域のスポーツクラブに加入している生徒の割合	中学校	72.0%	80%
	高等学校 (全日・定時)	54.0%	60%
体力・運動能力調査の5段階評価で上位2ランク（A・B）の児童生徒の割合	51.2%	60%	
公立中学校における休日の運動部活動について、地域展開を実現している割合	27.8%	60%	

【施策の方針4-8】 学校保健の充実・食育の推進

朝食を毎日食べる小中学校児童生徒の割合	83.9% (R6)	100%
---------------------	------------	------

基本目標 5 誰一人取り残されない多様な教育ニーズへの対応を推進します

【施策の方針5-1】 不登校児童生徒への支援の充実

項 目	現状 (R7)	目標 (R12)	
1,000 人当たりの不登校児童生徒数（公立）	小中学校	38.9 人 (R6)	減少
	高等学校 (全日・定時)	40.1 人 (R6)	減少
学校内外の機関等で専門的な相談・指導を受けた不登校児童生徒の割合（公立）	小学校	56.6% (R6)	100%
	中学校	49.6% (R6)	100%
	高等学校 (全日・定時)	52.6% (R6)	100%

【施策の方針 5-2】 特別支援教育の充実とインクルーシブ教育の推進

項 目	現 状 (R7)	目 標 (R12)
特別支援学校高等部の新卒生徒のうち一般就労した生徒の割合	31.1% (R6)	40%
特別支援学校教員の特別支援学校教諭免許状保有率	94.7% (R5)	100%

【施策の方針 5-3】 特別な教育的支援が必要な児童生徒に対するサポートの充実

小中高等学校の通常の学級において、特別な支援を必要と判断された全ての児童生徒に対して個別の教育支援計画を作成した割合	92.8%	100%
--	-------	------

基本目標 6 信頼される質の高い学校づくりを推進するとともに、地域の教育力の向上を目指します

【施策の方針 6-3】 次代の学校教育を担う教員志望者の確保と養成

項 目	現 状 (R7)	目 標 (R12)
いしかわ師範塾の年間修了者数	136 人	150 人

【施策の方針 6-4】 学校における働き方改革の推進

教職員の時間外在校等時間月平均	小学校	33.7 時間 (R6)	30 時間以下
	中学校	44.7 時間 (R6)	
	高等学校 (全日)	38.0 時間 (R6)	
時間外在校等時間月 80 時間超の教職員の割合	小学校	1.5% (R6)	0%
	中学校	9.5% (R6)	
	高等学校 (全日)	4.0% (R6)	
今の仕事にやりがいや誇りを感じている教職員の割合		75.7% (R6)	80%

【施策の方針 6-7】 学校・家庭・地域が一体となって取り組む体制作り

公立小中義務教育学校におけるコミュニティ・スクール導入校の割合	63.4%	100%
---------------------------------	-------	------

【施策の方針 6-8】 家庭・地域の教育力の向上

「げんきいっぱいカード」の取組者数	5,461 人	7,000 人
-------------------	---------	---------

基本目標 7 高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力向上を推進します

【施策の方針 7-2】 高等教育機関による「地域の活性化」の推進

項 目	現 状 (R7)	目 標 (R12)
地域課題解決などのフィールドワークプログラムに取り組む学生数	1,650 人 (R5 ~ R8.2)	4,000 人 (R5 ~ 累計)

基本目標 8 生涯にわたり学び続ける環境づくりを推進します

【施策の方針 8-1】 生涯にわたる学習の推進

項 目	現 状 (R7)	目 標 (R12)
県民大学校修了者数（累計）	21,429 人 (R6)	24,000 人
あいあいネット（県生涯学習情報提供システム）年間アクセス件数	7,741 件 (R6)	10,000 件
県立図書館における年間来館者数	1,192,832 人 (R6)	1,200,000 人
県立図書館内コレクション総合検索「SHOSHO ISHIKAWA」の検索可能件数	1,736,607 件 (R6)	1,770,000 件

【施策の方針 8-2】 社会教育の奨励・振興

社会教育士取得者数（累計）	109 人 (R6)	200 人
---------------	------------	-------

【施策の方針 8-3】 豊かな心を育む読書活動の充実（子供の読書活動の推進）

全国学力・学習状況調査（または県基礎学力調査）で学校の授業時間以外に、全く読書（電子書籍も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）をしない児童生徒の割合	小学校	29.2%	10%以下
	中学校	49.4%	10%以下

基本目標 9 ライフステージに応じたスポーツ活動を充実します

【施策の方針 9-1】 生涯にわたるスポーツ活動の振興

項 目	現 状 (R7)	目 標 (R12)
いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数	10,616 人 (R6)	22,500 人
県障害者スポーツ大会の参加者数	727 人	1,080 人
日本スポーツ協会公認指導者数	2,414 人 (R6)	2,500 人
県内スポーツ施設の年間利用者数	699 万人	900 万人
いしかわ総合スポーツセンターの年間利用者数	22.3 万人	52 万人
いしかわスポーツマイレージアプリの登録者数	28,909 人 (R6)	44,000 人

【施策の方針 9-2】 競技スポーツの振興

全国大会における県内選手・団体の入賞数	107 件	120 件
---------------------	-------	-------

【施策の方針 9-3】 スポーツを通じた地域活性化

石川ユナイテッド加盟チームのホーム試合における観客数	136,519 人 (R5)	164,800 人
----------------------------	----------------	-----------

● 基本計画策定の経過

月	会議等の名称	内 容 等
6月	いしかわのこども未来ラウンドテーブル (6月3日～10月28日)	○14校(小3、中3、高6、特支2)において実施
	県内児童生徒へのアンケート調査 (6月23日～8月4日)	○回答件数 小学校 15,904件、 中学校 16,294件、高等学校等 9,491件
7月	第1回第4期石川の教育振興基本計画 検討会議(24日)	○基本計画の経緯について ○現行計画の主な取組・成果について ○見直しに向けた今後の課題について
11月	第2回第4期石川の教育振興基本計画 検討会議(20日)	○基本計画(中間まとめ案)について
	教育委員会会議(28日)	○基本計画(中間まとめ案)報告
12月	厚生文教委員会(17日)	○基本計画(中間まとめ案)報告
	パブリックコメント実施 (12月22日～1月21日)	○意見件数91件
2月	第3回第4期石川の教育振興基本計画 検討会議(24日)	○基本計画(最終案)について
3月	教育委員会会議(5日)	○基本計画(案)について ・議決
	厚生文教委員会(18日)	○基本計画報告

● 第4期石川の教育振興基本計画検討会議委員名簿

敬称略・五十音順

氏名	役職名
青木 賢人	金沢大学人間社会研究域地域創造学系准教授
飯田 弘之	北陸先端科学技術大学院大学副学長
石野 晴紀	石川県産業教育振興会会長
今村 久美	認定特定非営利活動法人カタリバ代表理事
岡橋 勇侍	石川県高等学校長協会会長
小川 正	輪島市教育長
角 秀明	やすらぎ能登教室相談員（前 飯田高等学校長）
黒木 康生	金沢経済同友会理事
桑村 佐和子	金沢美術工芸大学教授
小杉 雄二	石川県高等学校定時制通信制教育振興会会長
小水 康史 ^{※1}	日本労働組合総連合会石川県連合会会長
清水 茂	白山市教育長
清水 義晃 ^{※2}	石川県 NIE 推進協議会事務局長
杉江 哲治	石川県特別支援学校長会会長
鈴木 寛	東京大学大学院公共政策学連携研究部教授
田中 宏志	石川県小中学校長会会長
出嶋 哲	石川県高等学校 PTA 連合会副会長
中田 明秀	石川県 PTA 連合会副会長
本所 恵	金沢大学人間社会研究域学校教育系教授 学長補佐
向 孝志	石川県私立中学高等学校協会会長
山本 卓	金沢大学人間社会研究域長、人間社会学域長
和田 学 ^{※3}	石川県商工会議所連合会副会頭

※1 R7.10.27まで 福田 佳央

※2 R7.10.31まで 竹本 豊

※3 R7.10.31まで 西 正次

用語集

用語	説明	初出ページ
【英字】		
COCOLO プラン	令和 5 年 3 月に文部科学省が「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」として、不登校により学びにアクセスできない子供たちをゼロにすることを目指し、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現するためのプラン。	84
CS マイスター	全ての公立学校でコミュニティ・スクールを導入し、その機能を充実させるため、文部科学省が委嘱する専門家。豊富な知識と実践経験を活かし、教育委員会等に助言・支援を行う役割を担う者。	112
DX (デジタルトランスフォーメーション)	デジタル技術で人々の生活をより良いものに変革すること。	6
FMS (Functional Movement Screen)	身体的動作評価のこと。7 つの基本的な動作をそれぞれ 3 段階で評価し、関節の可動域や体の安定性、左右差、動きのクセ等を総合的に確認することで、ケガのリスクや動作上の課題を明らかにするもの。	139
GIGA スクール構想	文部科学省が提唱している構想で、「GIGA」は、Global and Innovation Gateway for All (全ての人にグローバルで革新的な入り口を) の略語。1 人 1 台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現させる構想。	1
ICT 支援員	ICT 企業の人材など、学校における ICT 環境整備の初期対応を行う、ICT 技術に知見を有する者。	53
IoT	Internet of Things の略。様々なものがインターネットに接続し、情報をやり取りすること。	6
N-E.X.T.(ネクスト)ハイスクール	New Education, New Excellence, New Transformation of High School の略。	50
OJT	On-the-Job Training の略。日常の具体的な仕事を通じて、必要な知識や技術、態度等を意識的・計画的・継続的に育成していくこと。	99
STEAM 教育	Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics 等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育のこと。	35
VR	Virtuai Reality の略語。現実と異なる CG 等で作られた映像を映し出す技術。	53
【あ行】		
アーバンスポーツ	明確な定義はないものの、街中の公園や道路での遊びから派生したスケートボードや BMX のように、都市内の身近な場所で気軽に楽しめるスポーツ。ほかに、3 × 3 バスケットボール、ボルダー、パルクール、スラックラインが例として挙げられる。	141
あいあいネット(県生涯学習情報提供システム)	県民の自主的な生涯学習活動を促進・援助するため、県や市町等の生涯学習情報をインターネットにより提供するシステム。講座・講師案内や視聴覚教材情報を提供するほか、講座ビデオの映像配信等を行っている。	126
アントレプレナーシップ	起業家精神と訳される。起業に限らず、新事業の創出や社会課題解決に向け、新たな価値の創造に取り組む姿勢や発想・能力等を指す。	36
石川県中学生サイエンスチャレンジ	県内の中学生が互いに協力しながら、科学に関する知識・技能を活用したもののづくり等に挑戦し、課題を解決するための思考力、判断力や表現力を競い合う大会。	35

用語	説明	初出ページ
いしかわ高校科学グランプリ	県内の科学好きの高校生が、筆記競技（物理、化学、生物、地学、数学、情報の6分野）及び実技競技を学校対抗のチーム戦で実施する大会。優勝チームは、全国大会である「科学の甲子園」に出場。	35
いしかわ子ども自然学校	子供たちに石川の豊かな自然を生かした四季折々の自然体験の機会を提供し、自然を大切に作る心やたくましく生きる力を育むことを目的とするプログラム。	69
いしかわ障害者プラン 2024	障害のある人の自立と社会参加の促進を目指した施策を進めるための、6年間の計画。読書バリアフリーの推進について記載されている。	131
いしかわスポーツマイレージ	スポーツを「する」「みる」「ささえる」3つの活動にポイントを付与し、利用者のスポーツ活動を見える化するスマートフォンアプリ。	136
いしかわニュースーパーハイスクール(NSH)	思考力、判断力、表現力等を備え、将来、国際社会でも活躍できるリーダー的人材の育成を目指すための取組。「いしかわニュースーパーハイスクール」(H15～)をさらに進化・発展させたもの。	35
いしかわ版特別支援学校技能検定	清掃、接客、物流の種目があり、それぞれの業界団体の専門家が技能面と態度面を総合的に評価し、審査を行う石川県の特別支援学校の検定制度。	87
石川まいぶん博士	県埋蔵文化財センターや県内の埋蔵文化財関連施設、博物館等での展示の見学や体験イベントへの参加の回数に応じて、「博士」に認定する事業。小学校3年生から中学生が対象。	70
医療的ケア	一般的に学校や在宅等で日常的に行われている、たんの吸引・経管栄養・気管切開部の衛生管理等の医行為のこと。	88
インクルーシブ教育	人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とする目的の下、障害のある者となない者が共に学ぶこと。	86
オンデマンド配信	あらかじめ作成された動画をインターネット等のメディアを通じて、都合の良い時間に視聴することが可能な方式のこと。	99

【か行】

学力の三要素	学校教育法第30条第2項で規定された学力の重要な三つの要素。①基礎的な知識・技能、②それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、③主体的に学習に取り組む態度。	45
学校関係者評価	学校評価の一環として、保護者、学校評議員、地域の人々など、学校に関わりのある方により構成された評価委員会が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、学校が行った自己評価の結果等について評価すること。	95
学校評議員	保護者や地域住民の意見を幅広く校長が聞くために、教育委員会の判断により学校ごとに置くことができる委員のこと。教育に関する理解と識見を有する者のうちから、校長の推薦により教育委員会が委嘱する。	95
学校防災アドバイザー	教職員や児童生徒等の防災に対する意識の向上等を図り、学校における質の高い学校安全の取組を推進するため、専門的な知見から、学校において策定する「危機管理マニュアル」の点検・改善、防災教育に対する指導・助言、防災研修会の実施等を行う有識者。	79
ガバナンスコード	スポーツ団体が適切な組織運営を行うための原則・規範としてスポーツ庁が策定した「スポーツ団体ガバナンスコード」のこと。	140
キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと。キャリアとは、「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね」のこと。	11

用語	説明	初出ページ
キャリア・パスポート	子供たちが、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる様々な活動について、学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオ（学習の成果をまとめて綴ったもの）のこと。小学校から中学校、高等学校へと引き継いで活用していく。	55
教育支援センター（やすらぎ教室等）	県や各自治体が設置・運営する公的な施設で、不登校などにより学校に通えていない児童生徒を対象に一人一人に合わせた個別学習や相談などを行ってくれる場所	83
教科担任制（小学校）	きめ細かな指導の充実のために、教科指導の専門性を持った教師が特定の教科を担当する制度。抽象的な思考が高まり、それに対応して各教科等の学習が高度化する小学校高学年を主な対象としているが、中学年や新採教員等の学級にも対象を拡大している。	47
業務量管理・健康確保措置実施計画	令和7年6月に成立した改正給特法に基づき、教育委員会が策定することが義務付けられた、教育職員の業務量を適切に管理し、健康を確保するための措置を講じることを目的とした計画。	105
クラブマネジャー	総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブの管理運営（経営）を中心に担う立場の人。クラブの人員や予算などに応じて事業計画を立てて実行し、その進行や過程、成果を評価し、改善を図っていく役割を持つ。	137
グローバルサイエンスキャンパス	傑出した科学技術人材の育成を目的として、文部科学省が指定する大学で卓越した意欲・能力を有する高校生等を募集・選抜し、国際的な活動を含む高度で体系的な理数教育プログラムを開発・実施する事業。	36
県民大学校	県民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる生涯学習システム。市町、大学、民間教育機関などと連携して、県内全域でさまざまな学習の機会を提供している。また、修了生を対象として、石川県の自然・防災、歴史、文学、産業に関するより専門的な学識を修得するための石川の博士養成講座（大学院）がある。	125
高等学校発達障害アドバイザー	高等学校が、在籍する発達障害のある生徒に早く気づき、早期に対応することができるよう定期的に高等学校を訪問し、必要に応じて支援する人。	91
校内教育支援センター	学校には行けるが自分のクラスには入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用できる、学校内の余裕教室等を活用した部屋。	84
心の教育推進協議会	健全な青少年の人間形成を目指し、学校・家庭・地域を代表する団体と県教委で構成された、「心の教育」の推進を目的とした協議会。	61
個別の教育支援計画	障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、教育の視点から、地域の医療・福祉・労働等関係機関との連携を図りながら、乳幼児期から学校卒業後までの長期的視野に立って、一貫した的確な指導・支援を行うために、障害のある幼児児童生徒一人一人に作成する計画のこと。	86
コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）	学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の5）に基づいた仕組み。	12

【さ行】

作業療法士	心身機能に考慮した動作指導や環境調整により、日常生活能力（食事・着替え・入浴など）、社会適応能力の改善を図り、活動と参加の向上を目指す専門職のこと。	88
持続可能な開発目標（SDGs）	SDGsとはSustainable Development Goalsの頭文字をとったもの。2015年9月の国連サミットで採択。国際社会全体の開発目標として設定された2030年を期限とする包括的な17の目標。	47

用語	説明	初出ページ
社会教育士	教育委員会や首長部局、企業、NPO等、社会教育に携わる様々な立場から地域の教育・福祉・防災・環境・地場産業などの領域で、社会教育の専門性やコーディネート力等を発揮し、人々の学びの支援やネットワークを通して人づくりや地域づくりに中核的な役割を果たす専門人材。	128
スーパーサイエンスハイスクール(SSH)	平成14年度より文部科学省が、科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高等学校を指定。指定校では、未来を担う科学技術系人材の育成を目的として、理数系教育に関するカリキュラムの開発・実践や高大接続の在り方についての研究開発を実施。	35
スクールカウンセラー	児童生徒の臨床心理に関する専門的な知識や経験を有し、児童生徒へのカウンセリング、教職員や保護者に対する助言・援助を行う専門家。	27
スクールソーシャルワーカー	社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する専門家。	84
ストレスチェック	ストレスに関する質問票(選択回答)に労働者が記入し、それを集計・分析することで、自分のストレスがどのような状態にあるのかを調べる簡単な検査。労働安全衛生法が改正され、労働者が50人以上いる事業所では、平成27年12月から、毎年1回、この検査を全ての労働者に対して実施することが義務付けられた。	29
性的マイノリティ	性的指向(恋愛感情又は性的感情の対象となる性別についての指向)が異性に限らない人や、ジェンダーアイデンティティ(自己の属する性別についての認識に関するその同一性の有無又は程度に係る意識)が生物学的な性と異なる人。	6
生徒指導提要	生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書として、文部科学省が平成22年に初めて作成した。	65
全国学力・学習状況調査	学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として国が平成19年度から実施している調査。全国的な児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。小学校第6学年及び中学校第3学年を対象として、教科に関する調査(知識・活用を一体的に問う問題)及び生活環境や学校環境に関する質問調査を実施。	32
全国体力・運動能力、運動習慣等調査(体力・運動能力調査)	小中学校の体力の状況を把握・分析し体力向上に役立てることを目的として国が平成20年度から実施している調査。小学校第5学年及び中学校第2学年を対象として、「握力」「上体起こし」など8種目の実技調査、運動習慣・生活習慣・食習慣などに関する質問紙調査を実施。	75
センター的機能	特別支援学校がこれまで培ってきた高い専門性を生かしながら、地域の幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校、高等学校からの要請に応じて、必要な指導・助言や研修等を行うなど、各学校の教員の専門性や施設・設備を活かした地域における特別支援教育のセンターとしての役割を担うこと。	86
総合型地域スポーツクラブ	地域住民が主体的に運営し、地域の特性や実状に応じてスポーツを楽しむことのできるスポーツクラブ。複数の種目が用意され、誰もが年齢、興味・関心、技術・技能レベルなどに応じていつでも活動できることなどを特徴としている。	135

用語	説明	初出ページ
創造的復興教育	<p>災害を契機とした、復旧だけではなく、災害前から地域にあった課題も乗り越え、持続可能な地域社会を創出できる人材の育成を目指した教育。例えば、以下の特徴などを含む、被災地からの特色ある教育実践を行う。</p> <p>①大学や、NPO、ボランティア、地域住民等の多様な主体による協働型の教育 ②予測困難な社会の中で、自ら学び考え行動できる力を養う教育 ③グローバル社会に対応した、新たな価値を創造・主導するイノベーティブな教育 ④ITの活用を含む多様な学びの場の確保により、誰でもアクセス可能な教育 ⑤故郷愛や絆に根ざした、復興を支える地域の人材を生み出す教育</p>	11

【た行】

確かな学力	基礎的・基本的な知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学び意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めた学力のこと。	1
地域学校協働活動	地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う登下校の見守りや学校の環境整備等の活動。	12
チーム学校	校長のリーダーシップの下、教職員や様々な専門スタッフがチームとして適切に役割分担し、学校の教育力・組織力を向上させる取組。	11
中1ギャップ	小学校から中学校への進学において、生徒が新しい環境での学習や生活への適応に困難を感じ、不登校等の諸問題が発生する現象のこと。	44
長期型企業実習 (デュアルシステム)	企業実習と教育・職業訓練を組合せて実施することにより若者を一人前の職業人に育てる実践的な教育・職業能力開発の仕組みであり、企業での就業と学校での教育を同時並行で行うシステムのこと。	55
超スマート社会 [Society 5.0]	狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く新たな社会。サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。	6
通級指導教室	小中学校等の通常の学級に在籍している児童生徒の中で、障害により特別な配慮や対応が必要な児童生徒が一定時間、障害に応じた特別な指導を受けることができる教室のこと。	86
特別支援教育コーディネーター	各学校の特別支援教育を推進するために、学校内では、校内委員会や校内研修の企画・運営、担任への支援を行い、対外的には、医療、福祉等の関係機関との連絡・調整、保護者からの相談窓口等の役割を担う教員のこと。	90
トライアル雇用	特別支援学校の卒業生を対象に、一般就労に必要な知識・技能の習得及び向上を図ることを目的に、県立学校の環境整備や事務補助業務を行う非常勤職員として最長2年間雇用するもの。	87

【は行】

発達障害	アスペルガー症候群等の広汎性発達障害（自閉スペクトラム症）、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、自閉症等のその他これに類する脳機能の障害であって、その症状が通常低年齢において発現するもののうち、言語の障害、協調運動の障害、心理的発達の障害並びに行動及び情緒の障害。	90
「早寝・早起き・朝ごはん」運動	子供の食事、睡眠などの乱れを個々の家庭や子供の問題とするのではなく、社会全体の問題としてとらえ、子供が健やかに成長するための望ましい基本的な生活習慣の育成や、生活リズムの向上を目的として地域全体で取り組む運動。	114

用語	説明	初出ページ
ビッグデータ	デジタル化の進展やネットワークの高度化、また、スマートフォンやセンサー等のIoT関連機器の小型化・低コスト化によるIoTの進展により、スマートフォン等を通じた位置情報や行動履歴、インターネットやテレビでの視聴・消費・行動等に関する情報、また小型化したセンサーなどから得られる膨大なデータ。	6
ファシリテーション	お互いのコミュニケーションを円滑に促進し、一人一人の経験、知識、意欲を引き出しながら、話し合いをスムーズに行うことができるよう調整する技能。	126
フィルタリング	インターネットのページを一定の基準により「表示してよいもの」と「表示禁止のもの」などに分け、ページへのアクセスを制限する機能のこと。	67
部活動指導員	部活動顧問の負担を軽減させるため、専門的な知識・技能による指導のみならず、教員と同等に学校教育に関する十分な理解と生徒への適切な指導、事故が発生した場合の安全確保を前提に、単独で技術指導や大会引率が可能な指導員。	106
不登校児童生徒	何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいは登校したくてもできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。	83
フリースクール	一般に、不登校の子供に対し、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている民間の施設のこと。その規模や活動内容は多種多様であり、民間の自主性・主体性の下に設置・運営されている。	83
併設型中高一貫教育校	同一の設置者による中学校と高等学校を接続して、中高一貫教育を行う学校。本県では、県立金沢錦丘中学校が県立金沢錦丘高等学校に併設されている。	44
放課後子供教室	全ての子供を対象として、放課後や週末等に、小学校の余裕教室等を活用し、地域住民や退職教員等が参加することで、学習・スポーツ・文化活動、地域交流等の活動を提供し、子どもの社会性や創造性を育む地域協働の居場所づくりを推進するもの。	116
放課後児童クラブ	児童福祉法第6条の3第2項の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に小学校の余裕教室や児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るもの。	116

【や行】

ヤングケアラー	家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子供・若者。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがある。	6
ユニバーサルデザイン	年齢や障害の有無などにかかわらず、できるだけ多くの人々が利用しやすいように初めから意図してつくられた施設、製品、制度、サービス等のデザインのこと。	88

【ら行】

理学療法士	基本動作（座る・立つ・歩くなど）の改善や維持、及び障害の予防を目的に運動や物理療法をもちいて自立した生活を支援する専門職のこと。	88
リカレント教育	学校教育を修了した後、社会人が再び学校等で受ける教育のこと。職業から離れて行われるものか、職業に就きながら行われるものかを問わず、職業に必要なとされるスキルを身につけるためのリスキリングや、職業とは直接的には結びつかない技術や教養等に関する学び直しを含む概念として用いている。	10
レファレンス	利用者の求めに応じて、図書館職員が情報や資料を検索・提供し、調査・研究を支援すること。	49



第4期 石川の教育振興基本計画

策 定 令和8年3月

発 行 令和8年3月

発行者 石川県教育委員会事務局

教育政策課 教育振興推進室

〒920-8575 金沢市鞍月1丁目1番地

TEL : 076-225-1957 FAX : 076-225-1814

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/index.html>



